

様式2 【生活様式などの無形のもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP 公開 (  可・  否 )

区 分	1.森づくり 4.森と暮らし	2 森の恵み 5.森の文化財	3.森と技 6.森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 信仰	(ふりがな) しんこう	
地域独特の呼び方			
タイトル	出羽三山講		
伝承地域	相双地方		
由 来	<p>(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられたか)</p> <p>出羽三山では信仰圏を広げるために、配下の修験者たちが積極的に村落を回り信者を増やしていた。信者となった村落を霞(かすみ)という。本山では霞を大事にし、毎年修験者が霞を訪れて配札をすると同時に、信者が本山を参詣する際には先達として信者を案内した。こうした関係の上に出羽三山講は成り立っている。</p>		
内 容	<p>(内容とともに、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども)</p> <p>出羽三山講は出羽の月山、湯殿山、羽黒山に参詣し無病息災、五穀豊穰を祈念する講で、生涯に一度は参詣するものとされていた。また、山岳登拝は成人になったあかしでもあった。</p> <p>代参者は、出発前の一定期間、地元の行屋や神社に籠って水垢離をとり別火生活を送り身を清めて出発した。</p> <p>代参者の家では、出羽三山の登拝に出かけている期間中は殺生を忌みつつしみの生活を送る。特に、月山お山掛けの日は水垢離をとり潔斎して無事を祈った。</p> <p>代参者が帰ると、無事を感謝するとともに受けてきたお札を講のみんなに配った</p>		
文化財等の指定状況			
問い合わせ先			

【継承活動を行っている方がいる場合】

個人	氏名（ふりがな）		※顔写真ありましたら、コピーか電子ファイルをご恵与願います。（貼りつけずに名前がわかるようにして同封ください。）
	性別・年齢	男 ・ 女	
	生年月日	明治・大正・昭和・平成 年生	
	住所・電話	〒 電話	
団体	職業		
	団体名（ふりがな）		
	代表者氏名（ふりがな）		
	団体の設立年月日	明治・大正・昭和・平成 年 月 日	
	問い合わせ先		電話

【フリーフォーマット】※表面に記載した内容に関連したことを自由に記入してください。

キーワード

出羽三山参り



(南相馬市教育委員会)

※活動の様子が分かる資料等があればコピーを1部ご恵与ください。